

## V. 運営

### 22. 定款委員会

委員長 奥 山 宏 臣

本年度は以下の6項目に係る定款施行細則の変更の諮問を受けて、該当する入会規則（定款施行細則第1号）、役員・代議員等選任規則（定款施行細則第3号）、外科専門医制度規則（定款施行細則第8号）、外科専門医制度の外科専門医に関する施行規定、外科専門医制度の修練施設に関する施行規定、および会員懲戒規則（定款施行細則第9号）のそれぞれの変更案を作成し、理事会で決議されたので、社員総会に上程する。

#### 1) 副理事長の任期を理事の通算任期から除外すること

→理事長の任期と同様に、副理事長の任期も、理事の通算3期の任期制限から除外する。

#### 2) 学会活動停止処分の効果の追加

→会員の懲戒のうちの学会活動停止処分の効果として、「当該期間中に各種資格の申請・更新を行えず、学会参加や手術症例も加算できない」旨を追加する。

#### 3) 旧専門医制度における予備（筆記）/認定（面接）試験の終了

→旧専門医制度における予備（筆記）試験の実施は令和7（2025）年度、認定（面接）試験の実施は令和8（2026）年度で、それぞれ終了とする。

#### 4) 旧専門医制度における修練施設（指定/関連施設）の終了

→旧専門医制度における修練施設（指定/関連施設）の指定は、令和8（2026）年末をもって終了とする。

#### 5) 入会の推薦者の変更

→本学会の入会にあたっては代議員、もしくは旧専門医制度における指定施設の指導責任者による推薦が必要となるが、令和6（2024）年10月から、代議員、もしくは指導医であれば入会を推薦できるものに変更する。

#### 6) 準会員から正会員への移行

→非医師の準会員が医師免許もしくは医学士を取得した場合には、速やかに正会員に移行してもらうこととする。

## 23. 財務委員会

委員長 武 富 紹 信

### 1. 令和5年度決算について

令和5年度財務諸表を作成し、独立監査人であるEY新日本有限責任監査法人と本学会監事の監査を経て理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、定時社員総会に上程する（資料別添）。

### 2. 令和6年度予算について

令和6年度予算について、委員会で審議し、理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、令和6年2月1日からその予算に沿って業務を執行している（資料別添）。

### 3. 旅費精算書の様式変更について

令和5年10月からのインボイス制度の開始に伴い、顧問税理士の指導のもとに旅費精算書の様式を変更し、今後は新幹線や特急列車を利用の際にも領収書の提出を必須として、領収書の宛名は「一般社団法人日本外科学会」とすることを確認した。

### 4. 電子帳簿保存法の改正対応について

令和6年1月からの電子帳簿保存法の改正を受けて、事務局の業務や経理に必要な帳簿や書類などを電子データで保存するため、Sansan社の「BillOne」というシステムを採用することとした。

なお、この電子帳簿保存法対応システムの導入後は、本学会宛の請求書の送付先がすべて「BillOne」宛に変更となる旨を確認した（→「BillOne」で電子データ化されて事務局に送られる）。

### 5. インボイス制度に対応した学術集会参加費の領収書について

事務局から発行する請求書と領収書はすべてインボイス制度に対応済みだが、自動発行される学術集会の参加費の領収書についても対応が必要となる。そこで、会員の参加費は消費税が不課税で、非会員の場合のみ課税となることを踏まえて、第124回定期学術集会から外税方式を採ることとした。したがって、会員の支払額は15,000円（不課税）、非会員の支払額は16,500円（税込）となり、差異が生じる。

## 24. 情報・広報委員会

委員長 田 尻 達 郎

### 1. 会員向けオンラインシステムについて

会員向けオンラインシステムのリプレースに向けては、委託業者に選定したテクノブレイブ社と基本契約を締結し、会員アンケートの要望結果などを基に、具体的な要件定義書、システム開発の最終見積額、および作業スケジュールが委託業者より提示され、その内容で実際に開発に着手してもらうこととし、請負業務委託基本契約書を締結することとした（→新システムのリリース時期は令和6年9月を予定）。

なお、新システムの仕様設計にあたり、性的マイノリティの問題（いわゆるLGBTQ）に絡んで性別欄をどのようにするか、また、会員番号と外科専門医番号および指導医番号を一本化してよいかどうかとい

う2点を確認する必要が生じたので、前者はダイバーシティ推進委員会に、後者は専門医制度委員会に諮問し、答申を得た。

また、年会費の収納方法を①払込票、②自動振替（口座引落）、③クレジットカード、④銀行口座の4種に拡充することになっていたが、委託先の決済代行業者の取扱いサービスそのものの変更に伴い、システムをリプレイスしても、その4種を網羅することが難しくなったので、重複入金や誤振込などに因る過払金のシステム上の取扱いについてと併せて会員管理を所管する総務委員会に対応を諮問し、答申を得た。

## 2. SNSの利活用について

昨年度に立ち上げた「SNS活用のためのWG」を中心に、公式SNS（X：旧Twitter、Facebook）の運用の開始に向けて、ポリシーおよびフローを作成し、令和6年2月1日より運用を開始した。投稿については、WGと事務局が協議・推敲の上で、事務局が投稿する手筈とすることとした。

なお、第124回定期学術集会の第3日目（4月20日）にSNS-WGのセッション枠を設けてもらったので、そこで活動報告を行うこととなった。

また、論文のVisual Abstractを作成してSNSへ投稿することによって、閲覧数が増加することが判っているので、まずは英文誌編集委員会に検討してもらうこととした。

さらに、会員向けにSNSそのものの利用方法などについての解説を行うことも対応予定である。

## 25. NCD連絡委員会

委員長 湊 谷 謙 司

1. NCDから「NCD自施設データ利用申請」における外科領域のデータの利用申請について照会を受けた場合は、適宜「可否」を判断して、回答を行っている。
2. 例年どおり、NCDから2022年のデータ集計結果（Annual Report）が届いたので、ホームページで公開した。

### 1) 一般社団法人 National Clinical Database (NCD)

代表理事 池 田 徳 彦  
前代表理事 瀬 戸 泰 之

National Clinical Database（以下NCD）は、2010年に設立され、2011年1月の症例から登録を開始し、事業を開始して13年が経過した。2015年度より、登録を行っている施設会員から会費の支払いをお願いしている。なお、2018年度から未納期間が合計2年間（連続・不連続問わず）の施設は、「NCD施設会員資格」を喪失し、外科専門医制度において基幹施設又は連携施設になれないほか、個人医師による専門医申請の際に当該施設で実施された全症例（2011年～現在まで）のデータが利用することができなくなる。

外科学会関連で登録された症例数は、2024年3月1日時点で下記のとおりです。

2011年 1,172,267件  
2012年 1,278,943件  
2013年 1,567,147件

2014年	1,626,974件
2015年	1,718,437件
2016年	1,785,544件
2017年	1,829,410件
2018年	1,832,496件
2019年	1,862,083件
2020年	1,784,983件
2021年	1,816,416件
2022年	1,809,381件
累計	20,084,081件

また、過去に完了承認済みを1件以上登録した施設診療科数は、5,186施設・9,224診療科であり、有効ユーザー数は49,576人である。

なお、2023年分のデータ登録を2024年4月10日で締め切る予定である。

2023年度事業報告書、2024年事業計画書及び進行中の公的研究費案件一覧、データ利用研究の一覧（各領域ごと）については、次頁以降を参照のこと。

一般社団法人 National Clinical Database  
2023 年度事業報告書

**National Clinical Database**（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果をもって市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。2023 年度は、以下の事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- 医療技術等の進歩を踏まえ、より適切で更なる利活用が可能となるようなデータの収集を目指し、各領域のデータ入力仕様の改修要望を学会から受け付け、入力プラットフォームの構築を進めた。
- JCVSD-A、JCVSD-C、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、J-PCI 等の領域で、NCD データに基づく社会的関心が高い手術のリスク情報等を施設診療科が確認できるフィードバック関連機能の開発等を通し、各学会による医療の質の改善活動を継続的に支援した。
- DPC 情報の集積システムの管理及び運用を継続し、DPC 情報の更なる利活用を目指し、研究等を学会と協議した。
- NCD において、がん登録データベース（乳癌・膵癌・肝癌・胃癌・食道癌・腎癌・前立腺癌・膀胱癌・胆道癌・精巣癌・腎盂尿管癌等の領域）の維持管理及び開発を進めた。
- 症例登録において、追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力向上と状況把握を支援した。
- 利用者の入力負荷軽減のため、院内情報システムに症例アップロード用フォーマットの活用を促進した。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各学術団体による学術調査やアニュアルレポートを支援し、対応の仕組みづくりを検討した。
- データの質の検証業務にリモート型を含め、各領域でのデータ検証を支援した。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に更新し、医療品質の評価等に寄与した。
- 各領域との共同研究開発において、NCD データを用いた分析・評価を行う等、研究を支援した。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度との連携において、各種申請システム等の開発及び維持管理を継続して行った。
- 産学官連携において、医療機器等に関する製造販売後調査等を支援した。
- 各領域の学術集会において、NCD のデータ収集状況や利活用の方法について周知した。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 産学連携を積極的に推進し、データの利活用により、NCD の財政基盤の強化に貢献する施策を検討した。
- 個人情報の適正な取扱い及び知的財産の管理を行い、業務上のリスクアセスメントを適宜実施した。

- 機密性・完全性・可用性の向上のため、サーバーや作業端末の運用を見直し、クラウド化の対応を進めた。また、職員及び関係者の情報セキュリティに関する教育を継続して行った。
- ソフトウェアの品質向上に努め、システム保守及び管理業務の安定化を図った。適切なデータ管理のもとで、学術団体と協働した研究実施体制の整備支援を行った。

以上

一般社団法人 National Clinical Database  
2024 年度事業計画書

National Clinical Database（以下 NCD）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果をもって市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。2024 年度は、以下の事業を実施する。

(1) 医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- 医療技術等の進歩を踏まえ、より適切で更なる利活用が可能となるようなデータの収集を目指し、各領域のデータ入力仕様の改修要望を学会から受け付け、入力プラットフォームの構築を進める。
- JCVSD-A、JCVSD-C、消化器外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、J-PCI 等の領域で、NCD データに基づく社会的関心が高い手術のリスク情報等を施設診療科が確認できるフィードバック関連機能の開発等を通し、各学会による医療の質の改善活動を継続的に支援する。
- DPC・レセプト情報の集積システムの管理及び運用を継続し、DPC 情報の更なる利活用を目指し、研究デザイン等を学会と検討する。
- NCD において、がん登録データベース（乳癌・膵癌・肝癌・胃癌・食道癌・腎癌・前立腺癌・膀胱癌・胆道癌・精巣癌等の領域）の維持管理及び開発を進める。
- 症例登録において、追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力向上と状況把握を支援する。
- 利用者の入力負荷軽減のため、院内情報システムに症例アップロード用フォーマットの活用を促進する。

(2) データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- NCD データを用いて、参画する学会との協働のもと、日本における医療政策の立案と基盤となるエビデンスを創出する取り組みを推進する。
- 各領域の学術調査やアニュアルレポートにおいて、定型的な集計業務のシステム化を推進する。
- データの質の検証業務にリモート型を含め、各領域でのデータ検証を支援する。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に更新し、医療品質の評価等に寄与する。
- 各領域との共同研究開発において、研究実施体制の整備やデータ分析・評価のための支援を行う。
- 各領域の学術調査や研究の活性化を支援するため、データの適切かつ安全な利用を保持しつつ、学会推薦の解析者による研究支援制度の定着を図る。

(3) データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度との連携において、各種申請システム等の開発及び維持管理を継続して行う。
- 産学官連携において、医療機器等に関する製造販売後調査等を支援する。
- 各領域の学術集会において、NCD のデータ収集状況や利活用の方法について周知する。

(4) 法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 症例登録に当たっての専門的な知見の習得や入力効率化を図るため、データマネージャー等を対象にしたセミナーを開催する。
- 産学連携を積極的に推進し、データの利活用等により、NCDの財政基盤の強化に貢献する施策を検討する。
- クラウド化したサーバーの維持管理コストの財源を確保するため、施設会費の改定や学会負担のシステム運営費の見直しを行い、持続的、安定的な経営を目指す。また、クラウド使用料を縮減するため、より効率化した運用を検討し実施していく。
- 個人情報の適正な取扱い及び知的財産の管理を行い、業務上のリスクアセスメントを適宜実施する。
- 職員及び関係者の情報セキュリティに関する教育を継続して行う。
- ソフトウェアの品質向上に努め、システム保守及び管理業務の安定化を図る。

以上



## NCD公的研究費案件一覧(2023年4月以降)

NCD事務局進捗確認日:2024年2月27日

(1)AMED 肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)  
「ウイルス性肝疾患を含む代謝関連肝がん発生の病態解明に関する研究」

委託者	監修	内容	委託期間	領域
東京大学	小池和彦先生 (建石良介先生)	「組織学的に診断されたアルコール性でない脂肪肝炎(non-ASH steatohepatitis)のregistry研究」に関する事務業務	・2023年5月1日～2024年3月31日	・脂肪肝炎、消化器内科

## (2)厚労省肝炎対策予算

委託者	監修	内容	委託期間	領域
東京大学	小池和彦先生 (建石良介先生)	「肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者のQOL向上等に資する研究」 ー①レジストリーの改修、②事務運用業務、	①2023年4月1日～2024年3月31日 ②2023年4月3日～2024年3月31日	・肝癌/非代償性肝硬変、 分子標的薬

## (3)内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

委託者	監修	内容	委託期間	領域
国立国際医療研究センター 日本肝癌研究会	国土典宏先生 (建石良介先生)	「全国原発性肝癌追跡調査を利用した診療支援AI開発に関する研究」に関する事務運用	・2023年9月25日～2024年1月31日	・肝癌、AI研究開発

## 外科領域横断研究・日本外科学会主導研究

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2021	日本外科学会	池田 徳彦	The impact of COVID-19 on surgical procedures in Japan: an analysis of data of the National Clinical Database	Surgery Today,	16 November 2021 DOI: 10.1007/s00595-021-02406-2
2018	日本外科学会	瀬戸 泰之	No association between hospital volume and short-term outcomes of some common surgeries: a retrospective cohort study based on a Japanese nationwide database	Surgery Today,	11 February 2022 DOI: 10.1007/s00595-022-02467-x
2017	日本外科学会	下条 芳秀	An Analysis of Surgical Procedures for Trauma from the National Clinical Database in Japan, 2011-2016	Indian Journal of Surgery	15 April 2023 DOI:10.1007/s12262-023-03771-7
2018	日本胸部外科学会	木村 大輔	Postoperative cerebral infarction and arrhythmia after pulmonary lobectomy in Japan: a retrospective analysis of 77,060 cases in a national clinical database	Surgery Today,	05 May 2023 DOI:10.1007/s00595-023-02691-z
2022	日本外科学会	日比 泰造	Impact of the coronavirus disease 2019 pandemic on 20 representative surgical procedures in Japan based on the National Clinical Database: Annual surveillance of 2021 by the Japan Surgical Society	Surgery Today,	22 December 2023 DOI:10.1007/s00595-023-02786-7

## 学会名: 日本消化器外科学会

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Comparison of National Operative Mortality in Gastroenterological Surgery Using Web-based Prospective Data Entry Systems	Medicine (Baltimore)	Published online 2015 Dec 11.
2013	日本消化器外科学会	今野 弘之	Association between the participation of board-certified surgeons in gastroenterological surgery and operative mortality after eight gastroenterological procedures.	Surgery Today	First Online: 29 September 2016
2013	日本食道学会	北川 雄光	Comparison of Short-Term Outcomes Between Open and Minimally Invasive Esophagectomy for Esophageal Cancer Using a Nationwide Database in Japan	Annals of Surgical Oncology	First Online: 21 February 2017
2013	日本肝胆膵外科学会	宮崎 勝	Validation of the board certification system for expert surgeons (hepato-biliary-pancreatic field) using the data of the National Clinical Database of Japan: part 1 - Hepatectomy of more than one segment	Journal Hepatobiliary Pancreat Sciences	First published: 17 March 2016
2013	日本肝胆膵外科学会	宮崎 勝	Validation of the board certification system for expert surgeons (hepato-biliary-pancreatic field) using the data of the National Clinical Database of Japan: part 2 - Pancreatoduodenectomy	Journal Hepatobiliary Pancreat Sciences	First published: 19 March 2016
2013	日本内視鏡外科学会	比企 直樹	Higher incidence of pancreatic fistula in laparoscopic gastrectomy. Real-world evidence from a nationwide prospective cohort study.	Gastric Cancer	First Online: 08 September 2017
2013	日本内視鏡外科学会	比企 直樹	Morbidity and mortality from a propensity score-matched, prospective cohort study of laparoscopic versus open total gastrectomy for gastric cancer: data from a nationwide web-based database	Surgical Endoscopy	First Online: 07 December 2017
2013	日本外科学会	瀬戸 泰之	Effects of body mass index (BMI) on surgical outcomes: a nationwide survey using a Japanese web-based database	Surgery Today	First Online: 12 August 2015
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Significance of the board-certified surgeon systems and clinical practice guideline adherence to surgical treatment of esophageal cancer in Japan: a questionnaire survey of departments registered in the National Clinical Database	Esophagus	Published: 12 April 2019
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Impact of adherence to board-certified surgeon systems and clinical practice guidelines on colon cancer surgical outcomes in Japan: A questionnaire survey of the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 07 April 2020
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Impact of board certification system and implementation of clinical practice guideline for pancreatic cancer on mortality of pancreaticoduodenectomy	Surgery Today	Published: 07 May 2020
2013	日本胃癌学会	円谷 彰	Preoperative risk factors for postoperative intra-abdominal infectious complication after gastrectomy for gastric cancer using a Japanese web-based nationwide database	Gastric Cancer	Published: 21 May 2020
2014	日本消化器外科学会	太田 哲生	本邦の地域の医療需要を反映した専門医研修プログラムを作成する為の二次医療圏単位での医療の実態把握	日本消化器外科学会雑誌	J-STAGE公開日: 2016/11/22
2014	日本食道学会	岡部 寛	Impact of hospital volume on risk-adjusted mortality following oesophagectomy in Japan.	British Journal of Surgery	First published: 29 September 2016
2014	日本胃癌学会	吉田 和弘	Surgical outcomes of laparoscopic distal gastrectomy compared to open distal gastrectomy: A retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan	Annals of gastroenterological surgery	First published: 22 December 2017
2014	日本胃癌学会	吉田 和弘	Introducing laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer in general practice: a retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan	Gastric Cancer	First Online: 09 February 2018
2014	日本肝胆膵外科学会	宮崎 勝	Comparison of laparoscopic major hepatectomy with propensity score matched open cases from the National Clinical Database in Japan	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 29 September 2016
2014	日本膵臓学会	下瀬川 徹	Japan Pancreatic Cancer Registry of Japan Pancreas Society: Comparison between the conventional database and National Clinical Database (NCD)	Pancreatology	Available online 16 July 2016.
2014	日本腹部救急医学会	平田 公一	A comparison of the surgical mortality due to colorectal perforation at different hospitals with data from 10,090 cases in the Japanese National Clinical Database	Medicine	Publication Date: January 2017
2014	日本胃癌学会	芳賀 克夫	Development and Validation of Grade-Based Prediction Models for Postoperative Morbidity in Gastric Cancer Resection using a Japanese Web-based Nationwide Registry	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 20 June 2019
2014	日本消化器外科学会	竹末 芳生	Risk calculator for predicting postoperative pneumonia after gastroenterological surgery based on a national Japanese database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 22 April 2019
2015	日本消化器外科学会	森 正樹	Validity and significance of 30-day mortality rate as a quality indicator for gastrointestinal cancer surgeries.	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 16 April 2018
2015	日本外科学会	土岐 祐一郎	Frequency and risk factors for venous thromboembolism after gastroenterological surgery based on the Japanese National Clinical Database (516,217 cases)	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 22 July 2019
2015	日本内視鏡外科学会	長谷川 博俊	Safety and Feasibility of Laparoscopic Surgery for Elderly Rectal Cancer Patients in Japan: a nationwide study	BJIS Open	Published: 11 April 2021
2016	日本胃癌学会	馬場 秀夫	Effect of hospital and surgeon volume on postoperative outcomes after distal gastrectomy for gastric cancer based on data from 145,523 Japanese patients collected from a nationwide web-based data entry system.	Gastric Cancer	First Online: 09 October 2018
2016	日本胃癌学会	馬場 秀夫	Association of Surgeon and Hospital Volume with Postoperative Mortality after Total Gastrectomy for Gastric Cancer Data from 71,307 Japanese Patients Collected from a Nationwide Web-based Data Entry System (胃全録)	Gastric Cancer	Published: 09 October 2020
2016	日本内視鏡外科学会	比企 直樹	Surgical risk and benefits of laparoscopic surgery for elderly patients with gastric cancer. A multicenter prospective cohort study	Gastric Cancer	First Online: 11 December 2018
2016	日本消化器外科学会	後藤 満一	"Real-time" risk models of postoperative morbidity and mortality for liver transplants	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 02 November 2018
2016	日本肝胆膵外科学会	窪田 敬一	Use of the National Clinical Database to evaluate the association between preoperative liver function and postoperative complications among patients undergoing hepatectomy	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 18 June 2019
2016	日本膵臓学会	岡崎 和一	Risk model for severe postoperative complications after total pancreatectomy based on a nationwide clinical database	British Journal of Surgery	First published: 31 January 2020

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先-委先	掲載媒体詳細-委先日
2017	日本食道学会	馬場 秀夫	Can Minimally Invasive Esophagectomy Replace Open Esophagectomy for Esophageal Cancer? Latest Analysis of 24,233 Esophagectomies From the Japanese National Clinical Database	Annals of Surgery	Publication Date: January 31, 2019
2017	日本食道学会	馬場 秀夫	Response to Comment on "Can Minimally Invasive Esophagectomy Replace Open Esophagectomy for Esophageal Cancer? Latest Analysis of 24,233 Esophagectomies From the Japanese National Clinical Database".	Annals of Surgery	Publication Date: December 2019
2017	日本肝胆膵外科学会	田邊 稔	Safe dissemination of laparoscopic liver resection in 27,146 cases between 2011 and 2017 from the National Clinical Database of Japan	Annals of Surgery	2020 Mar 20(Epub ahead of print)
2017	日本肝胆膵外科学会	中村 雅史	Definition of the Objective Threshold of Pancreatoduodenectomy With Nationwide Data Systems	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published:26 December 2019
2017	日本内視鏡外科学会	赤木 智徳	Clinical impact of Endoscopic Surgical Skill Qualification System (ESSQS) by JSES for laparoscopic distal gastrectomy and low anterior resection based on the NCD registry	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 31 August 2020
2017	日本消化器外科学会	丸橋 繁	Geriatric Risk Prediction Models for Major Gastroenterological Surgery using the National Clinical Database in Japan: A Multicenter Prospective Cohort Study	Annals of Surgery	October 15, 2020 – Volume Publish Ahead of Print
2017	日本消化器外科学会	今野 弘之	Profiles of institutional departments affect operative outcomes of eight gastroenterological procedures	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 20 February 2021
2018	日本食道学会	本山 悟	Impact of certification status of the institute and surgeon on short-term outcomes after surgery for thoracic esophageal cancer: evaluation using data on 16,752 patients from the National Clinical Database in Japan	Esophagus	First Online: 03 October 2019
2018	日本胃癌学会	井ノ口 幹人	Feasibility of laparoscopic gastrectomy for patients with poor physical status: A retrospective cohort study based on a nationwide registry database in Japan	Gastric Cancer	First Online: 22 July 2019
2018	日本腹部救急医学会	星野 伸晃	Emergency surgery for gastrointestinal cancer: a nationwide study in Japan based on the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 21 June 2020
2018	日本肝胆膵外科学会	馬場 秀夫	Risk Factors for Bile Leakage: Latest Analysis of 10,102 Hepatectomies for Hepatocellular Carcinoma From the Japanese National Clinical Database	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 08 September 2020
2018	日本腹部救急医学会	松岡 義	Antithrombotic drugs have a minimal effect on intraoperative blood loss during emergency surgery for generalized peritonitis: A nationwide retrospective cohort study in Japan	World Journal of Emergency Surgery	Published: 27 May 2021
2018	脾臓内視鏡外科学会	中村 雅史	Comparison of Outcomes Between Laparoscopic and Open Pancreatoduodenectomy Without Radical Lymphadenectomy: Results of Coarsened Exact Matching Analysis Using National Database Systems	Asian J Endosc Surg	First published: 16 May 2021
2019	日本内視鏡外科学会	松田 武	Clinical outcome of laparoscopic vs open right hemicolectomy for colon cancer: A propensity score matching analysis of the Japanese National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 01 August 2020
2019	日本腹部救急医学会	山田 岳史	Emergency surgery for gastrointestinal cancer: A nationwide study in Japan based on the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 21 June 2020
2019	日本肝胆膵外科学会	花崎 和弘	Association of day of the week with mortality after elective right hemicolectomy for colon cancer: Case analysis from the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 15 January 2021
2019	日本食道学会	渡邊 雅之	Association between preoperative HbA1c levels and complications after esophagectomy: Analysis of 15 801 esophagectomies from the National Clinical Database in Japan	Annals of Surgery	2020/9/25 accepted
2019	日本消化器外科学会	竹内 裕也	Significance of the Glasgow Prognostic Score for Short-Term Surgical Outcomes: A Nationwide Survey Using a Japanese National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First Published: 21 March 2021
—	日本消化器外科学会	金治 新悟	Initial verification of data from a clinical database of gastroenterological surgery in Japan	Surgery Today	First Online: 07 November 2018
—	日本消化器外科学会	竹内 裕也	A risk model for esophagectomy using data of 5354 patients included in a Japanese nationwide web-based database.	Annals of Surgery	Publication Date: August 2014
—	日本消化器外科学会	渡邊 雅之	Total gastrectomy risk model: data from 20,011 Japanese patients in a nationwide internet-based database.	Annals of Surgery	Publication Date: December 2014
—	日本消化器外科学会	栗田 信浩	Risk Model for Distal Gastrectomy When Treating Gastric Cancer on the Basis of Data From 33,917 Japanese Patients Collected Using a Nationwide Web-based Data Entry System.	Annals of Surgery	Publication Date: August 2015
—	日本消化器外科学会	小林 宏寿	Risk model for right hemicolectomy based on 19,070 Japanese patients in the National Clinical Database.	Journal of Gastroenterology	First Online: 27 July 2013
—	日本消化器外科学会	松原 長秀	Mortality after common rectal surgery in Japan: a study on low anterior resection from a newly established nationwide large-scale clinical database.	Diseases of the Colon & Rectum	Publication Date: September 2014
—	日本消化器外科学会	見城 明	Risk stratification of 7,732 hepatectomy cases in 2011 from the National Clinical Database for Japan.	Journal of the American College of Surgeons	Published online:November 18, 2013
—	日本消化器外科学会	木村 理	A pancreaticoduodenectomy risk model derived from 8576 cases from a national single-race population (Japanese) using a web-based data entry system: the 30-day and in-hospital mortality rates for pancreaticoduodenectomy.	Annals of Surgery	Publication Date: April 2014
—	日本消化器外科学会	中越 亨	Surgical risk model for acute diffuse peritonitis based on a Japanese nationwide database: an initial report on the surgical and 30-day mortality.	Surgery Today	First Online: 18 September 2014
—	日本消化器外科学会	後藤 満一	National Clinical Database feedback implementation for quality improvement of cancer treatment in Japan: from good to great through transparency.	Surgery Today	First Online: 24 March 2015
—	日本消化器外科学会	菊池 寛利	Development and external validation of preoperative risk models for operative morbidities after total gastrectomy using a Japanese web-based nationwide registry.	Gastric Cancer	First Online: 11 March 2017
—	日本消化器外科学会	國崎 主税	Modeling preoperative risk factors for potentially lethal morbidities using a nationwide Japanese web-based database of patients undergoing distal gastrectomy for gastric cancer.	Gastric Cancer	First Online: 23 August 2016

申請年度	申請団体	研究発表者	研究内容	投稿先-発表先	掲載媒体詳細-発表日
—	日本消化器外科学会	吉田 卓弘	Risk assessment of morbidities after right hemicolectomy based on the National Clinical Database in Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 16 April 2018
—	日本消化器外科学会	渡邊 聡明	Prediction model for complications after low anterior resection based on data from 33,411 Japanese patients included in the National Clinical Database.	Surgery	Published online: January 30, 2017
—	日本消化器外科学会	横尾 英樹	Models predicting the risks of six life-threatening morbidities and bile leakage in 14,970 hepatectomy patients registered in the National Clinical Database of Japan.	Medicine (Baltimore)	Published online 2016 Dec 9
—	日本消化器外科学会	青木 修一	Risk factors of serious postoperative complications after pancreaticoduodenectomy and risk calculators for predicting postoperative complications: a nationwide study of 17,564 patients in Japan.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 14 February 2017
—	日本消化器外科学会	佐瀬 晋一郎	Risk Models of Operative Morbidities in 16,930 Critically Ill Surgical Patients Based on a Japanese Nationwide Database.	Medicine (Baltimore)	Publication Date: July 2015
—	日本消化器外科学会	宇田川 晴司 (大倉 遼)	Development of a model predicting the risk of eight major postoperative complications after esophagectomy based on 10,826 cases in the Japan National Clinical Database	Journal of Surgical Oncology	Accepted 27 November 2019
2013	日本消化器外科学会 Annual Report	今野 弘之	National Clinical Database(消化器外科領域) Annual Report 2011-2012	日本消化器外科学会雑誌	2013/12/1
2014	日本消化器外科学会 Annual Report	若林 剛	National Clinical Database(消化器外科領域) Annual Report 2014	日本消化器外科学会雑誌	2015/12/1
2015	日本消化器外科学会 Annual Report	掛地 吉弘	National Clinical Database(消化器外科領域) Annual Report 2015	日本消化器外科学会雑誌	2017/2/1
2016	日本消化器外科学会 Annual Report	掛地 吉弘	Surgical outcomes in gastroenterological surgery in Japan: Report of National Clinical database 2011-2016	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 23 November 2017
2017	日本消化器外科学会 Annual Report	長谷川 寛	Surgical outcomes in gastroenterological surgery in Japan: Report of National Clinical database 2011-2017	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 20 May 2019
2018	日本消化器外科学会 Annual Report	掛地 吉弘	Surgical outcomes in gastroenterological surgery in Japan: Report of National Clinical database 2011-2018	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 20 March 2020
2019	日本消化器外科学会 Annual Report	丸橋 繁	Surgical outcomes in gastroenterological surgery in Japan: Report of National Clinical database 2011-2019	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 09 April 2021
2020	日本消化器外科学会 Annual Report	梶原 由規	Annual report on National Clinical Database 2020 for gastroenterological surgery in Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 09 February 2023
2020	日本内視鏡外科学会	蛸立 祐介	Outcomes of robot-assisted versus conventional laparoscopic low anterior resection in patients with rectal cancer: propensity-matched analysis of the National Clinical Database in Japan	British Journal of Surgery	Published: 23 September 2021
2020	日本内視鏡外科学会	宇山 一郎	Safe implementation of robotic gastrectomy for gastric cancer under the requirements for universal health insurance coverage: a retrospective cohort study using a nationwide registry database in Japan	Gastric Cancer	First published: 12 October 2021
2015	日本外科学会	長谷川 潔	Association between age and short-term outcome of gastroenterological surgeries in older patients: An analysis using the National Clinical Database in Japan.	Langenbeck's Archives of Surgery(大改訂中(2021/2/24))	Published: 11 August 2021
2019	日本食道学会	竹内 裕也	Impact of Reconstruction Route on Postoperative Morbidity After Esophagectomy: Analysis of Esophagectomies in the Japanese National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 06 September 2021
2019	日本消化器外科学会	西口 幸雄	Survey regarding gastrointestinal stoma construction and closure in Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 06 November 2021
2020	日本腹部救急医学会	星野 伸晃	Laparoscopic surgery for acute diffuse peritonitis due to gastrointestinal perforation: a nationwide epidemiologic study using the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 13 December 2021
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Impact of board certification system and adherence to the clinical practice guidelines for liver cancer on post-hepatectomy risk-adjusted mortality rate in Japan: A questionnaire survey of departments registered with the National Clinical Database	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 27 May 2021
2019	日本肝胆膵外科学会	花崎 和弘	Day of surgery and mortality after pancreaticoduodenectomy: A retrospective analysis of 29 270 surgical cases of pancreatic head cancer from Japan	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 06 September 2021
2018	日本肝胆膵外科学会	山本 雅一	Surgical outcomes of laparoscopic versus open repeat liver resection for liver cancers: A report from a nationwide surgical database in Japan	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 20 April 2022
2018	日本内視鏡外科学会	小濱 和貴	Prevalence and safety of robotic surgery for gastrointestinal malignant tumors in Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 17 May 2022
2018	日本消化器外科学会	吉田 和弘	Surgical Experience Disparity Between Male and Female Surgeons in Japan	JAMA Surgery	First published: July 27, 2022
2018	日本肝胆膵外科学会	山本 雅一	Surgical outcomes of laparoscopic versus open repeat liver resection for liver cancers: A report from a nationwide surgical database in Japan	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	published: 20 April 2022
2018	日本内視鏡外科学会	小濱 和貴	Prevalence and safety of robotic surgery for gastrointestinal malignant tumors in Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	published: 17 May 2022
2018	日本消化器外科学会	吉田 和弘	Surgical Experience Disparity Between Male and Female Surgeons in Japan	JAMA Surgery	published: July 27, 2022
2018	日本消化器外科学会	掛地 吉弘	Risk model for mortality associated with esophagectomy via a thoracic approach based on data from the Japanese National Clinical Database on malignant esophageal tumors	Surgery Today	Published: 27 July 2022
2018	日本消化器外科学会	坂井 義治	A comparison of short-term surgical outcomes of male and female gastrointestinal surgeons in Japan: retrospective cohort study	BMJ Journals Premier Collection	Published: 28 September 2022

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先-発表先	掲載媒体詳細-発表日
2021	日本食道学会	渡邊 雅之	Influence of patient position in thoracoscopic esophagectomy on postoperative pneumonia: a comparative analysis from the National Clinical Database in Japan	Surgery Today	Published: 21 September 2022
2021	日本消化器外科学会	花崎 和弘	Effects of the COVID-19 pandemic on gastroenterological surgeries in 2020: A study using the National Clinical Database of Japan	Annals of Gastroenterological Surgery	published: 18 November 2022
2022	消化器外科	北川 雄光	The impact of COVID-19 for postoperative outcomes using a nationwide Japanese database of patients undergoing distal gastrectomy for gastric cancer	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 04 May 2023
2022	消化器外科	北川 雄光	Analysis of the short-term outcomes after esophagectomy for esophageal cancer during the COVID-19 pandemic using data from a nationwide Japanese database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 04 May 2023
2022	消化器外科	北川 雄光	Impact of COVID-19 Pandemic on Short-term Outcomes after Low Anterior Resection in Patients with Rectal Cancer: Analysis of Data from the Japanese National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 16 August 2023
2022	消化器外科	北川 雄光	Original Article Impact of the COVID-19 pandemic on the number and short-term outcomes in hepatectomy for hepatocellular carcinoma: Results from the Japanese National Clinical Database, 2019-2021.	Hepatology Research	First published: 03 February 2024
2013	日本消化器外科学会	後藤 満一	Impact of board certification system and implementation of clinical practice guideline for pancreatic cancer on mortality of pancreaticoduodenectomy	Surgery Today	Published: 07 May 2020
2017	日本消化器外科学会	後藤 満一	Impact of a board certification system and adherence to the clinical practice guidelines for gastric cancer on risk-adjusted surgical mortality after distal and total gastrectomy in Japan: a questionnaire survey of departments registered in the National Clinical Database	Surgery Today	Published: 18 November 2023
2016	山口大学 (AMED-石田班)	水野 浩昭	Impact of the hospital volume and setting on postoperative complications of surgery for gastroenterological cancers in a regional area of Western Japan	Surgery Today	Published: 10 August 2022
2021	日本肝膵腸外科学会	齋浦 明夫	Volume- and quality-controlled certification system promotes centralization of complex hepato-pancreatic-biliary surgery	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences	First published: 27 January 2023
2019	日本内視鏡外科学会	森 俊幸	Skill-qualified surgeons positively affect short-term outcomes after laparoscopic gastrectomy for gastric cancer: A survey of the National Clinical Database of Japan	Surgical Endoscopy	Published: 02 March 2023
2021	日本内視鏡外科学会	猪股 雅史	The clinical impact of COVID-19 on endoscopic surgery in Japan: Analysis of data from the National Clinical Database	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 15 February 2023
2018	日本消化器外科学会	瀬戸 泰之	Requirements for hospitals in Japan to have low operative mortality and failure-to-rescue rates	Annals of Gastroenterological Surgery	First published: 16 October 2023
2015	日本食道学会	松原 久裕	Essential risk factors for operative mortality in elderly esophageal cancer patients registered in the National Clinical Database of Japan	Esophagus	Published: 20 September 2022 volume
2020	日本食道学会	中島 康晃	Surgical outcomes of reconstruction using the gastric tube and free jejunum for cervical esophageal cancer: analysis using the National Clinical Database of Japan	Esophagus	Published: 10 March 2023 volume
2019	日本内視鏡外科学会	森 俊幸	Specialty-Certified Colorectal Surgeons Demonstrate Favorable Short-term Surgical Outcomes for Laparoscopic Low Anterior Resection: Assessment of a Japanese Nationwide Database. Diseases of the Colon & Rectum.	Diseases of the Colon & Rectum	September 11, 2023
2021	日本食道学会	竹内 裕也	Impact of reconstruction route on postoperative morbidity after esophagectomy: Analysis of esophagectomies in the Japanese National Clinical Database	Ann Gastroenterol Surg	First published: 06 September 2021
2022	日本食道学会	北川 雄光	Comparison of short-term outcomes among abdominal approaches in minimally invasive thoracoscopic esophagectomy using nationwide Japanese databases	Annals of surgery	Published: 21 February 2017 volume
2020	静岡県立静岡がんセンター 肝臓腸外科	杉浦 祐一	Morbidity after left trisectionectomy for hepato-biliary malignancies: An analysis of the National Clinical Database of Japan	JHBPS	First published: 26 September 2023

## 学会名：日本心臓血管外科手術データベース機構

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	掲載先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	帆足 幸也	ダウン症候群に伴う先天性心疾患に対する外科治療成績	Circulation Journal The Society of Thoracic Surgeons (STS) 53rd Annual Meeting 2017	2017 Sep 12. doi: 10.1253/circj.CJ-17-0483. Jan 2017; Houston, TX
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	植木 力	低左心機能患者におけるOPORC Or-pump CABGの比較検討	第45回日本心臓血管外科学会学術総会 American Association for Thoracic Surgery (AATS) 95th Annual Meeting 2015 The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	2015年2月(京都) Apr. 2015, Seattle, Washington 2016 Apr; 151(4): 1092-8.
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	國原 幸	大動脈弁置換術の全国集計	第43回日本血管外科学会学術総会 第58回 関西胸部外科学会学術集会 The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	2015年5月(神奈川) 2015年6月(岡山) 2019 Feb 15. pii: S0022-522X(19)30557-5. doi: 10.1016/j.jtvs.2019.01.122
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	宮入 剛	大動脈ステントグラフト挿入後の大動脈解離症例の検討	第45回日本血管外科学会学術総会 The Annals of Thoracic Surgery	2016年5月(広島) 2018 May; 105(5): 1392-1396. doi:
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	國原 幸	非僧帽弁手術における心房細動に対する外科的肺静脈隔離術の有効性	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	2017 May 23. doi: 10.1007/s11748-017-0785-x.
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	大北 裕	胸部大動脈瘤手術における慢性閉塞性肺疾患の影響	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	2017 Apr 1; 51(4): 761-766.
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	夜久 均	開心術後の大動脈狭窄症に対する大動脈弁置換術の成績および手術リスク因子の検討	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	2017 Feb 1; 51(2): 347-353
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	植木 力	冠動脈インターベンション既在冠動脈バイパス手術の周術期成績に与える影響の検討	第68回日本胸部外科学会定期学術集会 The Society of Thoracic Surgeons (STS) 52nd Annual Meeting The Annals of Thoracic Surgery	2015年10月(神戸) 2016; Phoenix, Arizona 2017 Jul; 104(1): 56-61
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	夜久 均	OFF-PUMP CABGと ON-PUMP CABGの術後早中期成績の比較	29th European Association for Cardio-Thoracic Surgery (EACTS) Annual Meeting General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Oct. 2015, Amsterdam, The Netherlands 2 November 2021
2014	日本心臓血管外科手術データベース機構	佐々木 啓明	各心性不全病期におけるオフポンプ冠動脈バイパス術の有効性の検討	第46回日本心臓血管外科学会学術総会 The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	2016年2月(名古屋) 2018 Apr 12. pii: S0022-522X(18)30934-6
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	宮田 裕章	医療機器の市販後における使用成績評価の質及び信頼性の確保のための要件等に関する研究(厚生労働科学研究委託業務)	32nd International Conference on Pharmacoeconomics and Therapeutic Risk Management	Aug. 2016; Dublin, Ireland
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	佐々木 啓明	心臓血管外科手術における出血量の予測因子について	Journal of Cardiovascular and Vascular Anesthesia	2017 Oct 13. pii: S1053-0770(17)30802-9
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	坂東 興	Impact of Body Mass Index and Albumin on Morbidity and Mortality after Cardiac Surgery in Geriatric Patients	第30回日本冠動脈学会学術集会 American Heart Association( AHA) 2017 J Thorac Cardiovasc Surg	2016年12月(東京) Nov. 2017; Anaheim California 2019 Sep 28.
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	福田 雅夫	急性肺塞栓症に対する外科治療の日本の現状	Circulation Journal 第47回日本心臓血管外科学会学術総会	2018 Jun 27. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0371. 2017年2月(東京)
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	北川哲也	成人先天性心疾患の外科治療に関する研究	第22回日本成人先天性心疾患学会ジョイントシンポジウム 日本心臓血管外科学会	2020年1月(東京) 2020
2015	日本心臓血管外科手術データベース機構	杉本晃一	単心室における房室弁置換術の遠隔期成績の検討	31st European Association for Cardio-Thoracic Surgery (EACTS) Annual Meeting Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery	Oct. 2017; Vienna, Austria 2018 Dec 1; 27(6): 895-900
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	齋藤 了	心室中隔欠損症に対して広く行われている外科的閉鎖術に際して、低体重の術後経過への影響を検討する	American Heart Association( AHA) 2018	Nov. 10, 2018
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	坂口 元一	心筋梗塞後心室中隔穿孔の周術期成績の検討	第47回日本心臓血管外科学会学術総会 Circ J	2017年2月(東京) 2019 Sep 11. doi: 10.1253/circj.CJ-19-0583.
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	中野 清治	本邦における再開心術(人工弁置換術)	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 第72回日本胸部外科学会定期学術集会	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 00 (2020) 1-9 2019年11月
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	阿部 知伸	急性大動脈解離の手術成績、患者背景の経時的な推移	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery, e2323
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	徳田 順之	本邦における大動脈弁手術における患者背景の推移と手術成績の解析	第71回日本胸部外科学会定期学術集会 Circulation Journal	2019年10月(東京) doi: 10.1253/circj.CJ-19-0674 2020 Volume 84 Issue 2 Pages 277-282
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	櫻岡 綾	Surveillance of AF Surgery in Asia-pacific Region	9th Asia Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session 2016	Oct. 2016, Seoul

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体/雑誌・発表日
2016	日本心臓血管外科手術データベース機構	平松 祐司	先天性心疾患術後の遅発性心タンポナーデの発症に関連する因子の検討	第51回心臓血管外科学会	2021年2月(京都)
				J Thorac Cardiovasc Surg open	Vol. 9 Number C 237-243
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	西 宏之	右小脳動脈瘤手術の有用性および安全性の検討 ~本邦におけるリスクファクターの解析~	第70回日本胸郭外科学術総会 演題登録	2017年10月(岡山)
				第71回日本胸郭外科学術総会 演題登録	2018年10月(東京)
				[ Which Patients Are Candidates for Minimally Invasive Mitral Valve Surgery? - Establishment of Risk Outcomes Using National Clinical Database. ]	Gr. J. 2019 Jul 25; 83(8): 1674-1681. doi: 10.1253/circj.02-19-0176. Epub 2019 Jun 29
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	橋本 力	オフポンプ冠動脈バイパス術における術中コンバージョンのリスク解析	[ The effect of hospital and surgeon procedure volume on incidence of intraoperative conversion during off-pump coronary artery bypass grafting. ] American Association for Thoracic Surgery (AATS)	99th Annual Meeting Toronto, Canada 2019 8& 8&-8& © 2020
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	田畑 実	低リスク大動脈弁置換術症例の成績と施設間差の検討	[ Impact of In-Hospital Transcatheter Aortic Valve Replacement Availability on Outcomes of Surgical Aortic Valve Replacement in Elderly Patients. ] American Association for Thoracic Surgery (AATS)	99th Annual Meeting Toronto, Canada 2019
				Gen Thorac Cardiovasc Surg	doi: 10.1253/circj.02-20-0032 2020 Volume 84 Issue 9 Pages: 1599-1604
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	藤田 知之	急性心筋梗塞後の僧帽弁閉鎖不全症への治療検討	Gen Thorac Cardiovasc Surg	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2020 Jun 25. doi: 10.1007/s11748-020-01418-y
				Gen Thorac Cardiovasc Surg	doi: 10.1253/circj.02-20-0032
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	田畑 実	中等度及び高リスク大動脈弁置換術症例の成績と施設間差の検討	American Association for Thoracic Surgery (AATS)	99th Annual Meeting Toronto, Canada 2019
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	正井 崇史	本邦における透折大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術のsurgical AVRの成績	Gr. J. 2020 Jul 22	doi: 10.1253/circj.02-20-0042
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	藤田 知之	急性心筋梗塞後の僧帽弁閉鎖不全症への治療検討	Gen Thorac Cardiovasc Surg	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2020 Jun 25. doi: 10.1007/s11748-020-01418-y
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	—	中等度及び高リスク大動脈弁置換術症例の成績と施設間差の検討	[ Impact of In-Hospital Transcatheter Aortic Valve Replacement Availability on Outcomes of Surgical Aortic Valve Replacement in Elderly Patients. ] American Association for Thoracic Surgery (AATS) 99th Annual Meeting Toronto, Canada 2019	Gr. J. 2020 Aug 25 doi: 10.1253/circj.02-20-0032
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	平田 康隆	Data provision and cooperation with World Database of Pediatric and Congenital Heart Surgery	Pediatr Cardiol	2018 Jan39(1)
2017	日本心臓血管外科手術データベース機構	—	本邦における透折大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術のsurgical AVRの成績	Gr. J. 2020 Jul 22	doi: 10.1253/circj.02-20-0042
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	福田 幾夫	慢性腎機能障害が弓部大動脈手術成績に与える影響についての検討	34th EACTS Annual Meeting	2020年10月
				European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 00 (2021)	1-8 doi:10.1093/ejcts/ezab252
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	中井 真尚	胸部心臓血管外科領域におけるSSI発生の現状とその影響	第32回日本外科感染症学会総会学術集会	2019年11月(岐阜)
				日本外科感染症学会雑誌	17(2): 54-59, 2021.
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	坂東 貴	Impact of Body Mass Index on Morbidity and Mortality after Cardiac Cardiac Surgery in Geriatric Patients Part3: Thoracic aortic surgery	J Thorac Cardiovasc Surg	2020 Aug; 160(2): 408-420.e14. doi: 10.1016/j.jtcvs.2019.07.048. Epub 2019 Sep 28.
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	井出 雄二郎	SPシヤント手術が、機能的単心室患者の生命予後に与える危険因子の同定	34th EACTS Annual Meeting	2020年10月
				European Journal of Cardiothoracic Surgery	2021 Jul 30; 60(2): 377-383
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	鍋田 亮	マルファン症候群の心臓血管外科手術に関する調査	第51回心臓血管外科学会	2021年2月(京都)
2018	日本心臓血管外科手術データベース機構	松浦 啓	人工透析患者に対する大動脈弁置換術の手術成績と長期予後に関する多施設研究	The Annals of Thoracic Surgery	Jan.2023
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	太田 教授	総動脈管症治療戦略における staged repair の有用性	American Association for Thoracic Surgery (AATS) 100th Annual Meeting	NV, USA 2020
				34th EACTS Annual Meeting	2020年10月
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	宮田裕章	時空間因子の複合的な効果が急性大動脈症候群の手術症例の予後に及ぼす影響	Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	DOI: <a href="https://doi.org/10.1016/j.jtcvs.2020.03.043">https://doi.org/10.1016/j.jtcvs.2020.03.043</a>
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	志水 秀行	東日本大震災前後における先天性心疾患手術数の動向についての調査	Journal of the American Heart Association	Journal of the American Heart Association on 10.1181/JAHA.119.014787
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	大北 祐	日本における急性A型大動脈解離の治療	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 2020 Nov. 11
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	平田 康隆	全国および東京都における重症先天性心疾患の胎児診断率と予後に関する網羅的調査 (JOGS調査分)	15th International Society of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology	2019年
				Journal of Cardiology	<a href="https://doi.org/10.1016/j.jcc.2021.08.013">https://doi.org/10.1016/j.jcc.2021.08.013</a> (Accepted 4 August 2021)
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	北村 悠一郎	先天性心疾患に対する冠動脈移植術(coronary transfer)に伴う冠血行不全の頻度・原因・対策など生存率向上に資する調査研究と介入的作成	European Journal of Cardiothoracic Surgery	2021年12月
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	杉本 愛	完全型心臓欠損症及びファロー四徴症合併症例に対する本邦の治療成績と周術期危険因子の検討	Gen Thorac Cardiovasc Surg	2022 Mar 25



申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体種別・発表日
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	松浦 馨	中等度以下虚血性閉塞不全症に対する閉塞弁手術の現状とその治療成績	Gen Thorac Cardiovasc Surg	2023年3月
2019	日本心臓血管外科手術データベース機構	立石 渉	本邦の心臓大血管手術後SSIの発生頻度とリスク・短期予後への影響	Gen Thorac Cardiovasc Surg	2022年12月
2020	日本心臓血管外科手術データベース機構	坂東 興	冠動脈病変を有する大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術及び大動脈弁置換術+冠動脈バイパスの早期成績とリスク因子に関する検討	AATS	2021年4月
2020	日本心臓血管外科手術データベース機構	縄田 亮	First Database Comparison Between the United States and Japan: Coronary Artery Bypass Grafting	Ann Thorac Surg	2020 Apr;109(4):1159-1164.
2020	日本心臓血管外科手術データベース機構	大石 恭久	弓部大動脈手術における術式による早期治療成績の比較	Annals of Vascular Surgery	2023年10月
2020	日本心臓血管外科手術データベース機構	萩野 均	急性大動脈解離の外科治療に関する全国規模の診療実態調査	J Thorac Cardiovasc Surg	2023年11月
2021	日本心臓血管外科手術データベース機構	月原弘之	Audit-Based Quality Validation of the Japan Cardiovascular Surgery Database	Circulation Journal	2021 Oct 25;85(11):2014-2018.
2021	日本心臓血管外科手術データベース機構	北村 悠一郎	ロボット心臓手術( 閉塞弁閉鎖不全に対する形成術) の成績	Kyobu Geka	2022 Jul;75(7)
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Risk model of thoracic aortic surgery in 4707 cases from a nationwide single-race population through a web-based data entry system: the first report of 30-day and 30-day operative outcome risk model for thoracic aortic surgery.	Circulation	Circulation. 2008 Sep 30;118(14 Suppl):S153-9. doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.107.756884.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	First report on 30-day and operative mortality in risk model of isolated coronary artery bypass grafting in Japan.	Ann Thorac Surg	Ann Thorac Surg. 2008 Dec;86(6):1866-72. doi: 10.1016/j.athoracsur.2008.08.001.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Risk model of valve surgery in Japan using the Japan Adult Cardiovascular Surgery Database.	J Heart Valve Dis	J Heart Valve Dis. 2010 Nov;19(6):684-91.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Risk models including high-risk cardiovascular procedures: clinical predictors of mortality and morbidity.	Eur J Cardiothorac Surg	Eur J Cardiothorac Surg. 2011 May;39(5):667-74. doi: 10.1016/j.ejcts.2010.08.050. Epub 2010 Nov 2.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Effect of benchmarking projects on outcomes of coronary artery bypass graft surgery: challenges and prospects regarding the quality improvement initiative.	J Thorac Cardiovasc Surg	J Thorac Cardiovasc Surg. 2012 Jun;143(6):1364-9. doi: 10.1016/j.jtcvs.2011.07.010
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Operative mortality and complication risk model for all major cardiovascular operations in Japan.	Ann Thorac Surg.	2015 Jan;99(1):130-9. doi: 10.1016/j.athoracsur.2014.07.038. Epub 2014 Nov 8.
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Quality improvement in cardiovascular surgery: results of a surgical quality improvement programme using a national clinical database and database-driven site visits in Japan.	BMJ Qual Saf.	2019
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Development of Bayesian Mortality Categories for Congenital Cardiac Surgery in Japan	The Annals of Thoracic Surgery.	2020 Sep 16
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	本邦における心臓血管外科手術の現状: 2015年、2016年の日本心臓血管外科手術データベースの検討	日本心臓血管外科学会雑誌	Vol. 48, No. 1 January 2019 P1-24
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Current status of cardiovascular surgery in Japan, 2015 and 2016: a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database. 1-congenital heart surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	2019 Jul 20. doi: 10.1007/s11748-019-01160-0.
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Current Status of cardiovascular surgery in Japan, 2015 and 2016: a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database. 2-isolated coronary artery bypass grafting surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	2019 Jun 29. doi: 10.1007/s11748-019-01162-y.
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Correction to: Current status of cardiovascular surgery in Japan, 2015 and 2016, a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database. 3-Valvular heart surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	2019 Aug 5. doi: 10.1007/s11748-019-01178-4.
日本心臓血管外科手術データベース機構	-	-	Current status of cardiovascular surgery in Japan, 2015 and 2016: analysis of data from Japan Cardiovascular Surgery Database. 4-Thoracic aortic surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	2019 Jul 16. doi: 10.1007/s11748-019-01163-x.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	本邦における2017、2019年の心臓血管外科手術の現状: 日本心臓血管外科手術データベース(JOVS)からの報告 1.先天性心疾患手術	日本心臓血管外科学会雑誌	日本心臓血管外科学会雑誌 2020年49巻4号p.151-154
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	本邦における2017、2019年の心臓血管外科手術の現状: 日本心臓血管外科手術データベース(JOVS)からの報告 2.単独冠動脈バイパス手術	日本心臓血管外科学会雑誌	日本心臓血管外科学会雑誌 2020年49巻4号p.155-159
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	本邦における2017、2019年の心臓血管外科手術の現状: 日本心臓血管外科手術データベース(JOVS)からの報告 3.心臓弁膜症手術	日本心臓血管外科学会雑誌	日本心臓血管外科学会雑誌 2020年49巻4号p.160-168
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	本邦における2017、2019年の心臓血管外科手術の現状: 日本心臓血管外科手術データベース(JOVS)からの報告 4.胸部大動脈手術	日本心臓血管外科学会雑誌	日本心臓血管外科学会雑誌 2020年49巻4号p.169-179
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	CRG in NCD-JAOSD	Nihon Rinsho	2016 Jun 20; 74 Suppl 4 Pt 1: 446-51. Japanese.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Long-term results of bilateral pulmonary artery banding versus primary Norwood procedure	Pediatr Cardiol	Pediatr Cardiol. 2018 Jan;39(1):111-119
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Procedure- and Hospital-Level Variation of Deep Sternal Wound Infection From All-Japan Registry	Ann Thorac Surg.	2020 Feb;109(2):547-554. doi: 10.1016/j.athoracsur.2019.05.076. Epub 2019 Jul 20.
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Status of cardiovascular surgery in Japan: a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database 2017-2018. 1. Congenital heart surgery	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals.	2021;Vol.29 (4)
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Status of cardiovascular surgery in Japan between 2017 and 2018: A report based on the Japan cardiovascular surgery database 2. Isolated coronary artery bypass surgery.	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals.	2021;Vol.29 (4)
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Status of cardiovascular surgery in Japan between 2017 and 2018: a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database. 3. Valvular heart surgery.	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals.	2021;Vol.29 (4)
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Status of cardiovascular surgery in Japan between 2017 and 2018: a report based on the Japan Cardiovascular Surgery Database. 4. Thoracic aortic surgery	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals.	2021;Vol.29 (4)
-	日本心臓血管外科手術データベース機構	-	Audit-Based Quality Validation of the Japan Cardiovascular Surgery Database	Circulation Journal	2021 Volume 85 Issue 11 Pages 2014-2018 doi: 10.1253/circ.0j.21-0444

**学会名: 日本心臓血管外科手術データベース機構、日本心臓血管インターベンション治療学会 共同研究**

2016	日本心臓血管外科手術データベース機構 日本心臓血管インターベンション治療学会	-	施設内CRGsおよびUPQ症例数対比の検討	Journal of Clinical Medicine	-
------	---	---	-----------------------	------------------------------	---

▲年報の詳細は各学会へお問い合わせください

学会名：日本血管外科学会

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日	備考
2018年度	日本血管外科学会	保坂 晃弘	腹部大動脈領域の人工血管・ステントグラフト感染に対する術式と予後	・Hosaka A, Kumamaru H, Usune S, Miyata H, Goto H. Outcomes of Surgery for Endograft Infection in the Abdominal Aorta and Iliac Artery: A Nationwide Cohort Study. <i>Ann Surg.</i> 2023 Apr 1;277(4):e963-e970. ・Hosaka A, Kumamaru H, Usune S, Miyata H, Goto H. Surgical Repair of Abdominal Aorto-Iliac Prosthetic Graft Infections: A Nationwide Japanese Cohort Study. <i>Eur J Vasc Endovasc Surg.</i> 2023 Sep;66(3):407-416.		
2019年度	日本血管外科学会	尾原 秀明	National Clinical Database (NCD) を用いた膝窩動脈血栓症候群の術式と予後の検討	EJVES	2023/5/21	<a href="https://www.ejves.com/article/S1078-5884(23)00430-6/fulltext">https://www.ejves.com/article/S1078-5884(23)00430-6/fulltext</a>

アナニュアルの詳細は各学会へお問い合わせください  
 URL : <https://www.jsvs.org/ja/>

## 学会名：日本小児外科学会

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2016 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2011-2012.	日本小児外科学会雑誌	52: 1350-1359, 2016
2018 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2013-2014	日本小児外科学会雑誌	54: 314-335, 2018
2019 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2015-2016	日本小児外科学会雑誌	55: 298-303, 2019
2020 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2017-2018	日本小児外科学会雑誌	57: 765-772, 2021
2020 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 学術・先進医療検討委員会	わが国の新生児外科の現状 —2018年新生児外科全国集計—	日本小児外科学会雑誌	56: 1167-1182, 2020
2021 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2019	日本小児外科学会雑誌	57: 765-772, 2021
2023 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2020	日本小児外科学会雑誌	59: 72-78, 2023
2023 (掲載年)	日本小児外科学会	日本小児外科学会 NCD 連絡委員会	日本小児外科学会データベース委員会：National Clinical Database (小児外科領域) Annual Report 2021	日本小児外科学会雑誌	59: 912-918, 2024
2016	日本小児外科学会	藤代 準	Abdominal Drainage at Appendectomy for Complicated Appendicitis in Children: A Propensity-matched Comparative Study	Annals of Surgery	274: e599-e604, 2021.
2017	日本小児外科学会	照井 慶太	Development and validation of risk models for mortality and morbidity in 12 major pediatric surgical procedures: A study from the National Clinical Database-Pediatric of Japan	Journal of Pediatric Surgery	55: 2064-2070, 2020
2017	日本小児外科学会	藤代 準	Laparoscopic Versus Open Appendectomy for Acute Appendicitis in Children: a Nationwide Retrospective Study on Postoperative Outcomes	Journal of Gastrointestinal Surgery	25: 1036-1044, 2021
2019	日本小児外科学会	石丸 哲也	Risk factors for postoperative anastomotic leakage after repair of esophageal atresia: a retrospective nationwide database study	Surgery Today	Published 05 April 2023
2020	日本小児外科学会	照井 慶太	Influence of surgical volume on the mortality and morbidity of gastrointestinal perforation in children	Surgery Today	Published: 24 August 2023
2024	日本小児外科学会	伊勢 一哉	Impact of the novel coronavirus infection in pediatric surgery: an analysis of data from the National Clinical Database	Surgery Today	Published: 13 February 2024

アニュアルの詳細は各学会へお問い合わせください

## 学会名: 日本呼吸器外科学会

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
-	日本呼吸器外科学会	佐藤 幸夫	The consecutive impact of COVID-19 on thoracic surgical procedures in Japan: analysis of data from the National Clinical Database	Surgery Today.	2023 Nov 7. DOI: 10.1007/s00595-023-02763-0
2019	日本呼吸器外科学会	井上 匡美	Perioperative outcomes of minimally invasive surgery for large malignant thymic epithelial tumors and for total thyrectomy.	Surgery Today.	2023 Mar 3 DOI: 10.1007/s00595-023-02667-z
-	日本呼吸器外科学会	佐藤 幸夫	The impact of COVID-19 on thoracic surgical procedures in Japan: Analysis of data from the National Clinical Database	Lung Cancer	2022 Oct DOI: 10.1016/j.lungcan.2022.08.011
2020	日本呼吸器外科学会	一瀬 淳二	Real-world perioperative outcomes of segmentectomy versus lobectomy for early-stage lung cancer: a propensity score-matched analysis	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	2022 Nov 2 DOI: 10.1093/ejcts/ezac529
2019	日本呼吸器外科学会	新谷 康	A risk model for prolonged air leak after lobectomy using the National Clinical Database in Japan	Surgery Today.	2021 May 17 DOI: 10.1007/s00595-021-02300-x
2019	日本呼吸器外科学会	橋本 昌樹	Japanese Current Status of Curative-Intent Surgery for Malignant Pleural Mesothelioma	The Annals of Thoracic Surgery	2021 Apr 27 DOI: 10.1016/j.athoracsur.2021.04.042
2017	日本呼吸器外科学会	田中 雄悟	Preoperative cumulative smoking dose on lung cancer surgery in a Japanese nationwide database	The Annals of Thoracic Surgery	2021 Feb 15 DOI: 10.1016/j.athoracsur.2021.01.055
2017	日本呼吸器外科学会	宮崎 拓郎	Certified thoracic surgeons in Japan: a survey of risk-adjusted mortality in lung resection by a national database	Surgery Today.	2021 Jan 30 DOI: 10.1007/s00595-021-02227-3
2016	日本呼吸器外科学会	池田 徳彦	Current status of surgery for clinical stage IA lung cancer in Japan: analysis of the national clinical database	Surgery Today.	Published: 05 July 2020 DOI: 10.1007/s00595-020-02063-x
-	日本呼吸器外科学会	遠藤 俊輔	Risk assessments for broncho-pleural fistula and respiratory failure after lung cancer surgery by National Clinical Database Japan.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	2018 Oct 16. doi: 10.1007/s11748-018-1022-y
-	日本呼吸器外科学会	遠藤 俊輔	Model of lung cancer surgery risk derived from a Japanese nationwide web-based database of 78 594 patients during 2014-2015.	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery	2017 Dec 1;52(6):1182-1189. doi: 10.1093/ejcts/ezx190.
-	日本呼吸器外科学会	遠藤 俊輔	Development of an annually updated Japanese national clinical database for chest surgery in 2014.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery	2016 Oct; 64(10): 569-76. doi: 10.1007/s11748-016-0697-1.

アニュアルの詳細は各学会へお問い合わせください

## 学会名：日本乳癌学会

採択年	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2013	日本乳癌学会	新倉 直樹	Changes in tumor expression of HER2 and hormone receptors status after neoadjuvant chemotherapy in 21,755 patients from the Japanese breast cancer registry	Ann Oncol	2016 Mar;27(3):480-7. doi: 10.1093/annonco/mdv611
2013	日本乳癌学会	河合 賢朗	Body mass index and survival after diagnosis of invasive breast cancer: a study based on the Japanese National Clinical Database-Breast Cancer Registry	Cancer Med	2016 Jun;5(6):1328-40. doi: 10.1002/cam4.678.
2013	日本乳癌学会	片岡 明美	Young adult breast cancer patients have a poor prognosis independent of prognostic clinicopathological factors: a study from the Japanese Breast Cancer Registry	Breast Cancer Res Treat	2016 Nov;160(1):163-172. doi: 10.1007/s10549-016-3984-8
2014	日本乳癌学会	岩本 高行	Distinct breast cancer characteristics between screen- and self-detected breast cancers recorded in the Japanese Breast Cancer Registry	Breast Cancer Res Treat	2016 Apr;156(3):485-494. doi: 10.1007/s10549-016-3770-7
2015	日本乳癌学会	宮下 穰	Role of Postmastectomy Radiotherapy After Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer Patients: A Study from the Japanese Breast Cancer Registry	Ann Surg Oncol	2019 Aug;26(8):2475-2485. doi: 10.1245/s10434-019-07453-1
2015	日本乳癌学会	久保 真	A population-based recurrence risk management study of patients with pT1 node-negative HER2+ breast cancer: a National Clinical Database study	Breast Cancer Res Treat	2019 Dec;178(3):647-656. doi: 10.1007/s10549-019-05413-7
2015	日本乳癌学会	北条 隆	Taxane-based combinations as adjuvant chemotherapy for node-positive ER-positive breast cancer based on 2004-2009 data from the Breast Cancer Registry of the Japanese Breast Cancer Society	Breast Cancer	2020 Jan;27(1):85-91. doi: 10.1007/s12282-019-00997-w
2017	日本乳癌学会	相良 安昭	Trends in adjuvant therapy after breast-conserving surgery for ductal carcinoma in situ of breast: a retrospective cohort study using the National Breast Cancer Registry of Japan	Breast Cancer	2022 Jan;29(1):1-8. doi: 10.1007/s12282-021-01307-z
2017	日本乳癌学会	寺田 満雄	Surgical treatment trends and identification of primary breast tumors after surgery in occult breast cancer: a study based on the Japanese National Clinical Database-Breast Cancer Registry	Breast Cancer	2022 Jul;29(4):698-708. doi: 10.1007/s12282-022-01348-y
2017	日本乳癌学会	岡村 卓穂	Breast cancer survival among Japanese individuals and US residents of Japanese and other origins: a comparative registry-based study	Breast Cancer Res Treat	2020 Nov;184(2):585-596. doi: 10.1007/s10549-020-05869-y
2018	日本乳癌学会	下村 昭彦	Clinicopathological features of male patients with breast cancer based on a nationwide registry database in Japan	Breast Cancer	2022 Nov;29(6):985-992. doi: 10.1007/s12282-022-01378-6
2018	日本乳癌学会	相原 智彦	Prognosis and effectiveness of chemotherapy for medullary breast carcinoma	Breast Cancer Res Treat	2022 Dec;196(3):635-645. doi: 10.1007/s10549-022-06749-3
2018	日本乳癌学会	安立 弥生	Analysis of prognosis in different subtypes of invasive lobular carcinoma using the Japanese National Cancer Database-Breast Cancer Registry	Breast Cancer Res Treat	2023 Oct;201(3):397-408. doi: 10.1007/s10549-023-07022-x.

アナユアルの詳細は各学会へお問い合わせください

## 学会名：日本心血管インターベンション治療学会

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2016	日本心血管インターベンション治療学会	山地晋平	Relation of ST-Segment Elevation Myocardial Infarction to Daily Ambient Temperature and Air Pollutant Levels in a Japanese Nationwide Percutaneous Coronary Intervention Registry	The American Journal of Cardiology	2017 Mar 15;119(6):872-880.
2016	日本心血管インターベンション治療学会	沼澤洋平	Comparison of Outcomes of Women Versus Men with Non-ST-elevation Acute Coronary Syndromes Undergoing Percutaneous Coronary Intervention (from the Japanese Nationwide Registry).	The American Journal of Cardiology	2017 Mar 15;119(6):826-831.
2016	日本心血管インターベンション治療学会	坂倉建一	Incidence and Determinants of Complications in Rotational Atherectomy: Insights From the National Clinical Data (J-PCI Registry)	Circulation: Cardiovascular Interventions	2016 Nov;9(11): pii: e004278.
2017	日本心血管インターベンション治療学会	久保俊介	In-Hospital Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention for Acute Coronary Syndrome With Cardiogenic Shock (from a Japanese Nationwide Registry [J-PCI Registry])	Am J Cardiol	2019 May 15;123(10):1595-160
2017	日本心血管インターベンション治療学会	沼澤洋平	Comparison of Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention in Elderly Patients, Including 10 628 Nonagenarians: Insights From a Japanese Nationwide Registry (J-PCI Registry)	J Am Heart Assoc	2019 Mar 5;8(5):e011183
2017	日本心血管インターベンション治療学会	秋田敬太郎	Impact of reduced-dose prasugrel vs. standard-dose clopidogrel on in-hospital outcomes of percutaneous coronary intervention in 92 757 patients with acute coronary syndromes: a nationwide registry study in Japan	Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother	2020 Jul 1;6(4):231-238
2017	日本心血管インターベンション治療学会	大野洋平	Incidence and In-Hospital Outcomes of Patients Presenting With Stent Thrombosis (from the Japanese Nationwide Percutaneous Coronary Intervention Registry)	Am J Cardiol	2020 Mar 1;125(5):720-726
2018	日本心血管インターベンション治療学会	沼澤洋平	Association of the Hemoglobin to Serum Creatinine Ratio with In-Hospital Adverse Outcomes after Percutaneous Coronary Intervention among Non-Dialysis Patients: Insights From a Japanese Nationwide Registry (J-PCI Registry)	J Clin Med	2020 Nov 10;9(11):3612
2018	日本心血管インターベンション治療学会	石原隆行	Impact of peripheral artery disease on short-term outcomes after percutaneous coronary intervention: A report from Japanese nationwide registry	PLoS One	2020 Oct 6;15(10):e0240095
2018	日本心血管インターベンション治療学会	相川忠夫	Procedural Volume and Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention for Unprotected Left Main Coronary Artery Disease - Report From the National Clinical Data (J-PCI Registry)	J Am Heart Assoc	2020 May 5;9(9):e015404
2020	日本心血管インターベンション治療学会	澤野克明	Contemporary use and trends in percutaneous coronary intervention in Japan: an outline of the J-PCI registry	Cardiovasc Interv Ther	2020 Jul;35(3):218-226
2019	日本心血管インターベンション治療学会	藤井敏晴	Post-interventional adverse event risk by vascular access site among patients with acute coronary syndrome in Japan: observational analysis with a national registry J-PCI database	Cardiovasc Interv Ther	2019 Oct;34(4):297-304
2019	日本心血管インターベンション治療学会	高原克佳	Diabetes mellitus and other cardiovascular risk factors in lower-extremity peripheral artery disease versus coronary artery disease: an analysis of 1,121,359 cases from the nationwide databases	Cardiovasc Diabetol	2019 Nov 15;18(1):155
2020	日本心血管インターベンション治療学会	香坂俊	Outcome of Percutaneous Coronary Intervention in Relation to the Institutional Volume of Coronary Artery Bypass Surgery	J Clin Med	2020 Apr 27;9(5):1267
2019	日本心血管インターベンション治療学会	猪俣拓	Risk stratification model for in-hospital death in patients undergoing percutaneous coronary intervention: a nationwide retrospective cohort study in Japan	BMJ Open	2019 May 22;9(5):e026683
2020	日本心血管インターベンション治療学会	猪俣拓	Comparative Trends in Percutaneous Coronary Intervention in Japan and the United States, 2013 to 2017	J Am Coll Cardiol	2020 Sep 15;76(11):1328-1340
2020	日本心血管インターベンション治療学会	高原克佳	Presentation Pattern of Lower Extremity Endovascular Intervention versus Percutaneous Coronary Intervention	J Atheroscler Thromb	2020 Aug 1;27(8):761-768

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2020	日本心血管インターベンション治療学会	山地吉平	Population Density Analysis of Percutaneous Coronary Intervention for ST-Segment-Elevation Myocardial Infarction in Japan	J Am Heart Assoc	2020 Aug 4;9(15):e016952
2017	日本心血管インターベンション治療学会	猪原拓	Impact of Institutional and Operator Volume on Short-Term Outcomes of Percutaneous Coronary Intervention: A Report From The Japanese Nationwide Registry	JACC Cardiovasc Interv	2017 May 8;10(9):918-927
2019	日本心血管インターベンション治療学会	沼澤洋平	An overview of percutaneous coronary intervention in dialysis patients: Insights from a Japanese nationwide registry	Catheter Cardiovasc Interv	2019 Jul 1;94(1):E1-E8
2020	日本心血管インターベンション治療学会	辻村 也	In-Hospital Outcomes after Endovascular Therapy for Acute Limb Ischemia: A Report from a Japanese Nationwide Registry [J-EVT Registry]	J Atheroscler Thromb	2020 Nov 20.
2020	日本心血管インターベンション治療学会	飯田修	Impact of Institutional Volume on Critical In-Hospital Complications Adjusted for Patient- and Limb-Related Characteristics: An Analysis of a Nationwide Japanese Registry of Endovascular Interventions for PAD.	J Endovasc Ther	2020 Oct:27(5):739-748
2020	日本心血管インターベンション治療学会	大場祐輔	In-hospital outcomes and usage of embolic protection devices in percutaneous coronary intervention for coronary artery bypass grafts: Insights from a Japanese nationwide registry.	Catheter Cardiovasc Interv	2021 Apr 16.
2021	日本心血管インターベンション治療学会	澤山裕一	Variation in in-hospital mortality and its association with percutaneous coronary intervention-related bleeding complications: A report from nationwide registry in Japan	PLoS One	2021 Dec 13;16(12):e0261371.
2021	日本心血管インターベンション治療学会	伊藤 剛	Effect of Procedural Volume on In-Hospital Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Chronic Kidney Disease (From the Japanese National Clinical Data [J-PCI Registry])	Am J Cardiol	2022 Feb 15;165:12-18.
2021	日本心血管インターベンション治療学会	皆月 隼	Characteristics and in-hospital outcomes of patients undergoing balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: a time-trend analysis from the Japanese nationwide registry	Open Heart	2021 Sep;8(2):e001721.
2021	日本心血管インターベンション治療学会	村里嘉信	Percutaneous coronary intervention in side branch coronary arteries: Insights from the Japanese nationwide registry	Int J Cardiol Heart Vasc	2021 Aug 18;36:100856.
2021	日本心血管インターベンション治療学会	澤野克明	One-Year Outcome After Percutaneous Coronary Intervention for Acute Coronary Syndrome - An Analysis of 20,042 Patients From a Japanese Nationwide Registry	Circ J	2021 Sep 24;85(10):1756-1767.
2022	日本心血管インターベンション治療学会	安藤博彦	Japanese Nationwide PCI (J-PCI) Registry Annual Report 2019: patient demographics and in-hospital outcomes	Cardiovasc Interv Ther	2022 Jan 12:1-5.
2022	日本心血管インターベンション治療学会	音羽勘一	One-year Outcome after Percutaneous Coronary Intervention in Nonagenarians: Insights from the J-PCI OUTCOME Registry	Am Heart J	2022 Jan 8;S0002-8703(22)00004-7
2022	日本心血管インターベンション治療学会	猪原拓	Use of Thrombus Aspiration for Patients With Acute Coronary Syndrome: Insights From the Nationwide J-PCI Registry	J Am Heart Assoc.	2022 Aug 16;11(16):e025728. doi: 10.1161/JAHA.122.025728
2022	日本心血管インターベンション治療学会	山地吉平	Percutaneous coronary intervention during the COVID-19 pandemic in Japan: Insights from the nationwide registration data	Lancet Reg Health West Pac	2022 Mar 22;22:100434. doi: 10.1016/j.lanwpc.2022.100434.
2023	日本心血管インターベンション治療学会	徳田尊洋	Institutional Volume and Initial Results for Endovascular Treatment for Chronic Occlusive Lower-Extremity Artery Disease: A Report From the Japanese Nationwide Registry	J Endovasc Ther	2023 Mar 19;15266028231161242. doi: 10.1177/15266028231161242. Online ahead of print.
2023	日本心血管インターベンション治療学会	戸部彰洋	Ischemic and Bleeding Outcomes in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention With Chronic Kidney Disease or Dialysis (From a Japanese Nationwide Registry)	Am J Cardiol	2023 May 15;195:37-44. doi: 10.1016/j.amjcard.2023.02.027. Epub 2023 Mar 31.
2023	日本心血管インターベンション治療学会	齋藤佑一	Characteristics and outcomes of patients with no standard modifiable risk factors undergoing primary revascularization for acute myocardial infarction: Insights from the nationwide Japanese percutaneous coronary intervention registry	Am Heart J.	2023 Apr:258:69-76. doi: 10.1016/j.ahj.2023.01.009. Epub 2023 Jan 13.

申請年度	申請団体	研究代表者	研究内容	投稿先・発表先	掲載媒体詳細・発表日
2023	日本心臓血管インターベンション治療学会	齋藤佑一	Volume-Outcome Relations of Percutaneous Coronary Intervention in Patients Presenting With Acute Myocardial Infarction (from the J-PCI Registry)	Am J Cardiol	2023 Apr 1;192:182-189. doi: 10.1016/j.amjcard.2023.01.027. Epub 2023 Feb 21.
2023	日本心臓血管インターベンション治療学会	安藤 智	Volume-outcome relationship in complication-related mortality after percutaneous coronary interventions: an analysis on the failure-to-rescue rate in the Japanese Nationwide Registry	Cardiovasc Interv Ther.	2023 Apr 25. doi: 10.1007/s12928-023-00935-w. Online ahead of print.
2023	日本心臓血管インターベンション治療学会	田邊康宏	Intracardiac Echocardiography Guidance for Percutaneous Transcatheter Closure of Atrial Septal Defects — Nationwide Registry Data Analysis —	Circulation Journal	Circulation Journal/Volume 87 (2023) Issue 4/Article overview

アニュアルの詳細は下記の学会HPよりご確認ください  
URL: [http://www.cvit.jp/registry/data\\_manager/](http://www.cvit.jp/registry/data_manager/)



## 26. 総務委員会

委員長 猪股 雅史

### 1. 準会員の入会基準について

前年度の定時社員総会で定款および同施行細則が変更され、新たに準会員制度が設けられたが、準会員の具体的な基準や条件などは決まっていなかった。そこで、他の基本領域学会や外科系サブスペシャリティ学会などの対応を参考にして、当面は次の方針を採ることとした。

- ・職種などでの入会申請の制限は設けない。
- ・①入会希望者の職種と入会目的が記載された履歴書、②本会代議員もしくは指定施設の指導責任者1名からの推薦書、③属性を証明する身分証明書、の3点の書類の提出を求め、総務委員会であらかじめ確認の後、理事会で最終的な入会審査を行う。

また、「国外を拠点に活動する日本の医師免許証を持たない外国籍の医師」の入会希望者が生じた場合には、国際化推進の観点からも、所定の手続きを経れば、準会員として入会を認める方針を採ることとした。

### 2. 準会員から正会員への会員種別移行について

準会員が医師免許を取得した場合には、速やかに正会員に移行してもらうこととして、①本人からの申し出、②医師免許証の確認、③会費差額（5千円）の入金、の3点が充足したら、適宜対応する方針を採ることとした。

### 3. 入会希望者に対する推薦について

入会規則第3条第2項により、本学会の入会にあたっては代議員、もしくは指定施設の指導責任者による推薦が必要となるが、令和8（2026）年の末をもって旧専門医制度上の指定施設が廃止されると、指導責任者も存在しなくなることを受けて、会員管理システム更改のタイミングに合わせて、令和6（2024）年10月以降は、代議員、もしくは本会指導医選定中の会員であれば、入会希望者の推薦ができることとした（→定款委員会に申し送り済み）。

### 4. 会費の収納方法の見直しについて

会員管理システム更改時に年会費の収納方法を①払込票、②自動振替（口座引落）、③クレジットカード、④銀行口座の4種に拡充することが困難であることが判り、その対応について情報・広報委員会から諮問された。そこで、②の自動振替（口座引落）を廃止して、③のクレジットカードからの引落に一本化し、払込票、クレジットカード、銀行口座振込の3種の収納方法とすれば取扱い可能になることが判ったので、そのような旨の対応を答申した。

また、重複入金や誤振込などに因る過払金の取扱いについての諮問に対しては、原則として3万円までは返金せずに、自動的に翌年度以降の年会費に充当する運用を採る旨を答申した。

## 27. 将来計画委員会

委員長 池田 徳彦

本年度は特段の諮問事項はなく、開催していない。

## 28. 選挙管理・選挙制度検討委員会

委員長 武 富 紹 信

前年度の定時社員総会で定款が変更され、代議員の総定数が50名増えて、今回の代議員選挙から400名となった。役員・代議員等選任規則に従い、公示したところ、すべての選挙区で立候補者数が定数以内であったため、実際に投票を行うことなく、立候補者が当選者となり、1月16日付で393名が代議員に選任された（欠員7名：任期は令和8年1月15日まで）。

なお、50名の増員分については女性に充ててほしい旨のコンセプトを、理事会から明確なメッセージとして各選挙区に発信し、会員の理解も得られた結果、女性代議員が6名から56名に大幅に増加した。